

植物ゲノム・遺伝子源解析センター

月例セミナー

とき 平成27年10月16日(金)

16時～17時

ところ 農学部 DS304講義室

題目

「甘果オウトウ(サクランボ)の結実に関する研究」

講師

農学部教授 別府 賢治 博士

概略

甘果オウトウの主産地は、山形県をはじめとする冷涼な地域であるが、近年、西南暖地でも甘果オウトウの栽培が試みられている。しかしながら、暖地では結実不良が栽培上の大きな問題となっている。また、地球温暖化により主産地でも近年同様の問題が生じつつある。

演者らは、甘果オウトウの結実について、暖地や主産地での発生様相を調べるとともに、環境制御下での実験により、発生要因を調査してきた。また、結実向上のための栽培技術についても検討してきた。さらに、結実に関わる遺伝子についても調査を進めている。本講演では、これらの研究内容について紹介する。

参考文献

Beppu, K., Suehara, T. and Kataoka, I. : Embryo sac development and fruit set of 'Satohnishiki' sweet cherry as affected by temperature, GA₃ and paclobutrazol, Journal of the Japanese Society for Horticultural Science 70, 157-162 (2001).

Beppu, K., Suehara, T. and Kataoka, I. : High temperature and drought stress suppress the photosynthesis and carbohydrate accumulation in 'Satohhishiki' sweet cherry, Acta Horticulturae 618, 371-377 (2003).

別府賢治, 片岡郁雄: 暖地条件における夏季の遮光が甘果オウトウの光合成, 炭水化物の蓄積および翌春の結実性に及ぼす影響, 園芸学研究 4, 69-73 (2005).

Beppu, K., Iino, M. and Kataoka, I. : Effect of root zone cooling on flower development and fruit set of 'Satohnishiki' sweet cherry, Journal of Applied Horticulture 10, 113-115 (2008).

Beppu, K. and Kataoka, I. : Studies on pistil doubling and fruit set of sweet cherry in warm climate, Journal of the Japanese Society for Horticultural Science 80, 1-13 (2011).

主催 : 香川大学農学部 植物ゲノム・遺伝子源解析センター

(<http://www.ag.kagawa-u.ac.jp/phytogene/index.html>)